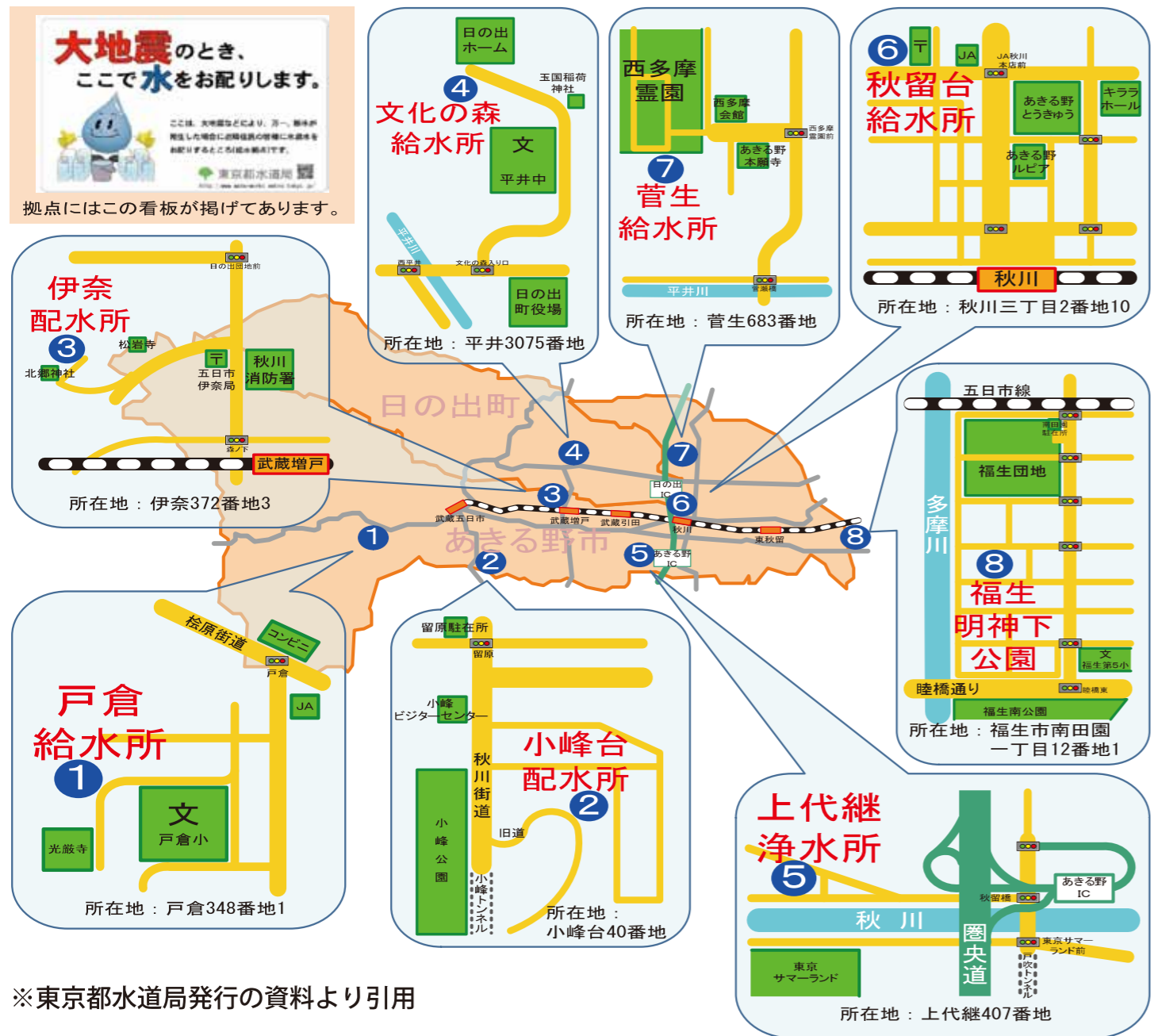


お近くの給水拠点を確認しましょう

東京都水道局では、地震などの災害により水道が出なくなった時に、水を配る場所を整備しています。もしもの時のため、近くの給水拠点を確認しましょう。東京都内のいずれの給水拠点でも水を受け取ることができます。ご利用の際には清潔な容器をご用意ください。



※東京都水道局発行の資料より引用

TOPIC 増戸地区が「地域の防火防災功労賞」を受賞

東京消防庁が主催する第12回地域の防火防災功労賞において、増戸地区防災・安心地域委員会が優良賞を受賞しました。これは、地域の小中学校と連携した地域防災力の強化や地域コミュニティ活性化を目指した取組が高く評価されたものです。この賞は、阪神・淡路大震災から10年目の平成16年に、地域の防災力の向上を図ることを目的に創設されました。今回、応募145団体の名から19団体が選出されましたが、多摩地域では2団体、秋川消防署管内では初の受賞となりました。



そなえ防災

あきる野市防災・安心地域委員会

平成28年3月30日
(第7号)
発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長 倉田克治

防災・安心地域委員会も「7歳」になりました!

防災・安心地域委員会は、「自分たちの地域は、自分たちで守る地域意識をもって」を活動の取組テーマに、平成20年12月に7つの地域分けて町内会・自治会を中心に9団体で設立しました。当時は、阪神・淡路大震災以降、短期間に大きな地震災害が発生し、防災体制強化が叫ばれていました。一方、あきる野市は、市民の防災意識が低く、自主防災組織も弱い中での設立で、戸惑いからの船出でした。7年経った今、地域委員会の活動が本格化し、市民の防災意識、防災力が向上し、外部での評価も得られるようになりました。主な成果としては次の通りです。

- 安否確認旗を活用した避難訓練、防災訓練活動が各地区で定着し活用された。学校と地域が一体となった避難訓練と防災訓練を行う地区も出てきました。
- 防災活動を組入れた「防災コンクール」は、女性や中学生が参加するようになり住民の防災技能と意識の向上に役立った。又、あきる野市の独特の活動となりました。
- 東京都の推進する「東京防災隣組」に増戸、西秋留、多西、五日市地区地域委員会の順に4年連続で認定されましたし、2自治体(日進市、久喜市)からの視察もありました。

今後の課題としては、避難所と自主防災組織の運営活動体制づくりの遅れで、現状で発災すると、災害現場、避難所で混乱が起こり、減災、救出等に影響が起こることが心配されます。このため、平成28年度は避難所と自主防災組織の運営活動が出来る体制づくりの強化をはかりたいと思いますのでご協力をお願いします。

防災・安心地域委員会 本部長 倉田 克治

自主防災組織活動報告

多西地区防災・安心地域委員会 ～災害時を想定した防災活動訓練～

1. 地形上の特徴

多西地区の地形は、東西に長く東は多摩川と平井川合流地点から西に多摩川を背に草花丘陵が日の出方面に続き、平井川を中心とする、秋留台地の一部を含む18町内会・自治会で構成されています。川沿いと山沿いに位置する町内会・自治会では、豪雨時河川の増水並びに土砂(がけ)崩れ等の区域がハザードマップに示すように危険区域が全町内会・自治会に示されている為、平素から様々な方法で訓練に取り組んでいます。

2. 訓練内容

各町内会・自治会ではそれぞれ地域特性に合った訓練を実施しており、多西地区防災・安心地域委員会が実施する総合訓練において、こうした訓練の成果を発揮しています。総合訓練は学校において消防署・消防団・各種団体の協力により実施しています。

多西地区防災・安心地域委員会 委員長 小川 好夫



本号の保存資料について

■地震に対する10の備え

『東京防災』を活用しよう

今すぐできる地震への備え！



地震に対する10の備え

黄色は防災ブックに載っているページだよ。見てね！

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- ・けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策をしておこう

- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



家屋や塀の強度を確認しておこう

- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



消火の備えをしておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（溺れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。



火災発生の早期発見と防止対策をしておこう

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



非常用品を備えておこう

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。



家族で話し合っておこう

- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・普段のつき合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握しておこう

- ・自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- ・自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



防災知識を身につけておこう

- ・新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- ・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



防災行動力を高めておこう

- ・日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



ココが大事！

まずは家の
中を安全に！



- P.94～（室内の備え）
- P.96～（対策のポイント）
- P.98～（器具の種類）
- P.100～（チェックリスト）

P.106～（耐震化）

- P.109、110
（住宅用消火器、住警器など）
- P.111
（防火チェックシート）

- P.84～（備蓄の重要性）
- P.86～（備蓄品リスト）
- P.90～（非常持ち出し袋）
- P.137（防災資器材の準備）

ココが大事！

家族だからこそ
話し合っておきましょう



- P.114～（居住地を把握）
- P.118～（地域の危険度）
- P.122～（家族会議）

- P.192～（災害時の知恵や工夫）
- P.238～（災害知識）
地震、津波、台風・大雨

ココが大事！

防火防災訓練で
行動の備えを！



- P.130～（防災訓練の種類）
- P.176～（救命法、応急手当）
- P.188～（初期消火資器材取扱）
消火器、屋内消火栓、スタンドパイプ、可搬式消防ポンプ

初動対応の備え

確かな行動の備え